

ながぬま



小麦収穫作業開始

— 10区 桃野農場 ほ場 —

新規就農者に 激励状を贈る

7月15日、長沼町民会館で長沼町食料・農業・農村振興協議会の主催による新規就農者激励会が開催されました。

齋藤町長からは、「少子高齢化の中で、4名が新規に就農され、農業が主産業である長沼町としても大変心強い。皆さんの柔軟な発想と熱い情熱で、これからの長沼農業が先進的で豊かになるよう期待している」と挨拶されました。

成田組合長からは、「長沼農業を共に支えてもらえることを心強く思う。営農の様々な場面において、関係機関と連携しながら全力でサポートしたい。また、地域の皆さんと話合い



さらに自分を磨いてほしい。」と激励されました。平井町議会議長からは、「町では基幹産業である農業を衰退させることなく、農業経



成田組合長から激励状が手渡されました

し、消費者の笑顔を糧に、誇り高い農業者になってほしい」と挨拶されました。

成田組合長から、一人ひとりに激励状が手渡され、北本真樹さんが新規就農者を代表して、「農業については分からないことばかりだが家族、地域や関係機関の皆様のサポートをいただきながら勉強し、将来的には自分の思い描く営農に取り組んでいきたい」とお礼を述べられました。



抱負の言葉を述べる北本真樹さん

新規就農者紹介



9区 北本 真樹

長らく札幌市で会社勤めをしておりましたが、昨年秋口に地元である長沼町へ戻り父のもと就農いたしました。世の中変化の時代と言われて久しいですが、農業も私が幼少の頃とは大きく変わってきていると感じております。私は既に社会的には中堅・ベテランと言われる年齢ですので焦りもありますが、まだまだわからないことばかり。まずは一歩一歩、農業を覚えてまいりたいと思っております。農業関係の皆様、JA職員の皆様、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



13区 清水 敏史

今年より新規就農者となりましたが、農業についてはまだまだ未熟であり、右も左も解りませんが地域農業に貢献出来るよう頑張っていますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

第3期種馬鈴しよ 防疫検査

7月14日、令和3年度種馬鈴しよ第3期防疫検査が実施されました。



横浜植物防疫所の検査官により病害虫の有無などが厳しく検査された結果、全筆合格となりました。

いちご共選開始

いちごの共選が6月29日にスタートしました。日量500パックが選別され道内・道外に出荷されています。



小学生に ちやぐりんを贈る

農協では、これからの社会を担っていく子供たちに、日本の農業、それを支える担い手やJAについて理解を深めてもらうために、長沼小学校5年生の児童と教諭らに食農教育の教材を贈りました。

贈った教材は、(社)家の光協会発行の雑誌「ちやぐりん」(別冊付録「田んぼの生きもの発見BOOK」)で森営農部長から長沼小学校の高羅校長に手渡されました。



高羅校長に雑誌を手渡す森営農部長

新規就農者に 激励状を贈る

7月15日、長沼町民会館で長沼町食料・農業・農村振興協議会の主催による新規就農者激励会が開催されました。

齋藤町長からは、「少子高齢化の中で、4名が新規に就農され、農業が主産業である長沼町としても大変心強い。皆さんの柔軟な発想と熱い情熱で、これからの長沼農業が先進的で豊かになるよう期待している」と挨拶されました。

成田組合長からは、「長沼農業を共に支えてもらえることを心強く思う。営農の様々な場面において、関係機関と連携しながら全力でサポートしたい。また、地域の皆さんと話合い



さらに自分を磨いてほしい。」と激励されました。平井町議会議長からは、「町では基幹産業である農業を衰退させることなく、農業経



成田組合長から激励状が手渡されました

し、消費者の笑顔を糧に、誇り高い農業者になってほしい」と挨拶されました。

成田組合長から、一人ひとりに激励状が手渡され、北本真樹さんが新規就農者を代表して、「農業については分からないことばかりだが家族、地域や関係機関の皆様



抱負の言葉を述べる北本真樹さん

新規就農者紹介



9区 北本 真樹

長らく札幌市で会社勤めをしておりましたが、昨年秋口に地元である長沼町へ戻り父のもと就農いたしました。世の中変化の時代と言われて久しいですが、農業も私が幼少の頃とは大きく変わってきていると感じております。私は既に社会的には中堅・ベテランと言われる年齢ですので焦りもありますが、まだまだわからないことばかり。まずは一歩一歩、農業を覚えてまいりたいと思っております。農業関係の皆様、JA職員の皆様、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



13区 清水 敏史

今年より新規就農者となりましたが、農業についてはまだまだ未熟であり、右も左も解りませんが地域農業に貢献出来るよう頑張っていますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

第3期種馬鈴しよ 防疫検査

7月14日、令和3年度種馬鈴しよ第3期防疫検査が実施されました。



横浜植物防疫所の検査官により病害虫の有無などが厳しく検査された結果、全筆合格となりました。

いちご共選開始

いちごの共選が6月29日にスタートしました。日量500パックが選別され道内・道外に出荷されています。



小学生に ちやぐりんを贈る

農協では、これからの社会を担っていく子供たちに、日本の農業、それを支える担い手やJAについて理解を深めてもらうために、長沼小学校5年生の児童と教諭らに食農教育の教材を贈りました。

贈った教材は、(社)家の光協会発行の雑誌「ちやぐりん」(別冊付録「田んぼの生きもの発見BOOK」)で森営農部長から長沼小学校の高羅校長に手渡されました。



高羅校長に雑誌を手渡す森営農部長

ながめまクリーンライズ 生産協議会 水稲現地研修 会の開催

7月9日、町内4カ所で生産者28名が参加のもと、水稲現地研修会が開催されました。

普及センターの高田主査を講師に迎え、令和3年水稲生育状況や、幼穂形成期からの深水管理についての研修を行いました。研修会時は、現地ほ場の幼穂の状況と稲の生育を確認しました。また、省力化栽培についてのお話もあり有意義な研修会となりました。



「あぐり王国北海道NEXT」 「XRT」で長沼産ブロッコリー・新施設撮影

7月11日に「あぐり王国北海道NEXT」で長沼産ブロッコリー・新施設の撮影を行いました。JAながめまブロッコリー生産組合 阪



アナウンサーとともに新鮮なブロッコリーの味に感動し召し上がっていました。

本年より稼働した新施設の説明は当JAの堀川職員が対応。荷受けから出荷までの流れについて説明。鮮度を保つための予冷库や出荷時に使う製氷機など、選別作業を見学



組合長宅で育苗・栽培スケジュールについて説明し、ほ場では森崎リーダー・森アナウンサーによる収穫体験を撮影。また、ほ場で阪組合長ご自慢の料理3品を提供。森崎リーダー・森

しました。最後には本年度の新規採用職員4名がフレッシュに当JAのPRを行いました。



令和2年度「JA共済 全道優績表彰」全道5位 (自動車部門)

令和2年度JA共済自動車部門(グレードアップ推進)において全道5位の表彰を農協本所会議室にて共済連岩見沢支所赤岡支所長より表彰状をいただきました。

今後も迅速かつ適正な対応による共済契約者様の満足度と安心感の向上を目指し努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。



青年部情報ネットワーク

令和2年度 食と農でつながるサポーターづくり優良事例表彰



JAながめま青年部では長沼町が全国有数の大豆作付面積をもった産地であることから10年ほど前から大豆製品のブランド化や消費拡大等の観点からオリジナル豆腐を作り販売してきた。令和2年度に長沼町で5ヶ所の小学校が合併し、町

り中止せざるをえなかった。本来であれば農産物に直接触れ、農作業や収穫、食するという体験をしていただき農業への理解と食農教育への関わりを深めていただく予定であった。コロナ禍で出来ることとして、長沼小学校の教員へ長沼の農産物を寄贈し食べてもらうことで、農業への理解と食農教育へのつながり、農産物のPRを行った。このような青年部の活動が高く評価され令和2年度「食と農でつながるサポーターづくり優良事例表彰で「優秀賞」を授与されました。

小学生が大豆ほ場見学

7月8日、JA青年部農産部プロジェクトは29区 服部俊也さん宅で長沼小学校3年生に対し、大豆ほ場や農業機械の見学会を開催しました。



大豆ほ場を見学する児童と青年部員

長沼小学校の3年生は、地域の代表的な作物である大豆について学習を深め、大豆づくりに関わる人たちの苦労や思いを学んでいます。例年であれば6月上旬に青年部と児童と一緒に小学校内の畑に大豆の種を蒔いていましたがコロナウイルス感染防止対策として本年は種の提供のみとなりました。

この日は、参加した2クラスの児童が大豆ほ場、農業機械の2会場に分かれて見学しました。大豆ほ場では、大豆の生育、虫や病気について、ほ場に入り大豆に触れながら学びました。農業機械見学では

トラクターやコンバイン、スプレイヤ、プランターなどの大豆に関わる作業機械を間近で見学しました。児童からは「大豆を育てるときに、一番気をつけることは」「大豆は、何日で芽がでるのか」「機械はどのように種を蒔くのか」など多くの質問がでていました。また、大豆収穫体験は10月中下旬に行う予定です。

青年部現地研修会開催

コロナ禍で出来る活動とし、各支部長宅で農業機械及びほ場視察等による現地研修会を開催。農業機械の長所・短所の質問やほ場の生育状況等、部員同士で情報交換を行いました。今後もコロナ禍でも出来る活動に取組んでまいります。



北支部研修会



中央支部研修会



南支部研修会



農業機械見学

女性部活動 園児にクールネット スカーフプレゼント



中央長沼保育園

JAながぬま女性部では空知女性協議会の「今私たちにできる事」をテーマとする社会貢献活動に賛同し町内の保

育園や幼稚園の園児と先生たちへ「クールネットスカーフ」を260枚作成し寄贈。女性部長の桃野千恵子さんより手渡され「保冷剤を入れて首を冷やしたり汗拭きなどに使ってください」と言われると園児の皆さんから大きな声で「ありがとうございます」とお礼の言葉をいただきました。



南長沼保育園

制限されるなか、部員の協力を得て作ることができ園児や先生に喜んでもらえてよかったです」と述べられました。



みこころ幼稚園

米穀事故防止研修会

7月13日、農産物の出荷最盛期を迎えるにあたり、柴田専務理事より施設稼働前の安全操業の訓示に続き、「米穀事故防止研修会」をJA並びFAMO長沼施設担当者総勢25名の参加のもと開催されました。



JA全農札幌営業農資材事業所堀野施設課長並びにホクレン岩見沢支所施設資材課林調査役を招き開催されました。堀野施設課長より「施設における品質事故防止」、「施設におけ

消防避難訓練を実施

7月6日、消防法施行令により年2回の消防訓練実施が義務付けられ、本所事務所、本所生産資材事務所、(株)FAMO長沼 燃料センター！Aコープながぬま店も含め通報・避難訓練と消火訓練を行いました。火災報知器での非常ベルを鳴らし、火元の発生に伴う通報・消火活動、事務所・店舗内での避難誘導を職員・社員・従業員が参加しました。また、消火訓練では株式会社ユニ二商会の指導により水消火器を使って消火作業を行い、万が一の火災発生時に対処出来るよう備えました。



本所消火訓練



FAMO長沼 燃料センター消火訓練

オンラインボードナー オンライン交流会開催

グリーンパートナー実行委員会では、依然として新型コロナウイルスの終息の兆しが見えない中、本年より参加者同士が直接会わずに取組むことが出来るオンライン交流会を新たな『出会の場』として協議・検討を進め、第1回オンライン交流会を7月10日、男性6名、女性8名の参加のもと開催いたしました。開催にあたり事前セミナーを実施し、内容説明やビデオチャットツールの使用方法等を確認しながら、参加者それぞれが抱える不安の解消を図ってまいりました。

交流会当日は司会に吉本興業所属の芸人を迎え、楽しい雰囲気の中、自己紹介から始まり、ミニゲームを通じて緊張をほぐしてから1対1のトークタイムを行い、それぞれ会話を楽しみました。今回は2組のカップルが誕生しました。今後も交流会の開催を予定しており、会員には開催時期等詳細が決定次第ご案内いたしますので、是非ご参加ください。また、随時会員募集しておりますので、まだ会員登録されていない方はお気軽にお問い合わせください。

事務局 経営相談課

担当 高瀬・安藤

TEL 88-12229

自主検査士の紹介

JAの農産物検査については、自主検査士を配置し指導にあたります。

小麦・米の適期刈取指導及び麦バラ施設、米の館での自主検査において指導・検査してまいりますのでよろしくお願いいたします。



温井 元(岩見沢市)



西村 榮二(江別市)



伊藤 正吉(札幌市)



吉田 美智男(札幌市)



JA農業関係資金のご紹介

100万円以上の借入で
借入より3年間の金利が

JAフルスペックローン → **0.5%**
JA農業経営ステップアップローン → **0.4%**

※適用期間後は、通常金利となります

JAフルスペックローン
●農機具やパイプハウス等の購入
●金利：変動 1.5%

JA農業経営ステップアップローン
●農地の取得・改良、施設取得の費用
●金利：変動 1.2%

※金利は8月1日現在

特別金利キャンペーン実施中

住宅ローン

住宅の新築・中古住宅の購入や修理費用等

- 期間：令和4年1月31日(月)まで
- 金利：3年固定 **0.5%** 更に3年間は
5年固定 **0.9%** ▶▶▶ **0.6%**
10年固定 **1.0%** ▶▶▶ **0.7%**

※当JAが指定する保証機関の保証をご利用いただけます。

※別途保証機関への保証料がかかります。

※審査の結果、ローン利用のご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。

詳しくは金融部融資課(TEL88-2224)まで
お気軽にご相談ください!

マイカーローン

自動車(新車・中古車)の購入や
車検・修理費用等

- 期間：令和4年1月31日(月)まで
- 金利：変動金利 **2.0%** ▶▶▶ **1.45%**
固定金利 **2.5%** ▶▶▶ **1.95%**

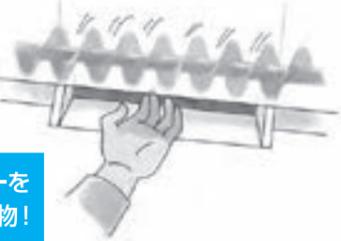
組合員加入+下記①~④いずれか1つの該当で **0.5%**引下げ

更には、過去マイカーローンをご利用いただいた方は **0.05%**引下げ

- ①給与・年金振込
- ②JAカードローン
- ③JAカード(一体型)
- ④公共料金自動引落

2 整備中の事故、確実に回転を止めて!

事例 秋作業後の清掃中、掃除口を開いて手を入れた瞬間、回転していたスロアに触れ、指を切断。



コンバインは、カバーを外すとまるごと回転物!

3 手こぎ中の事故

事例

手こぎ終了間際、手元から視線が離れ、搬送チェーンに手が巻き込まれた。このときに限って、3Lのダブついた手袋をしていた。左手挫滅創・入院2ヵ月。



1. 稲を確実に押し出してやる
2. 手袋をしない(※手袋装着の場合はフィットしたものを使用)
3. 稲から目を離さない

その他の事故

① 藁などが詰まり除去中、巻き込まれ ⇒ 回転を止めて!

- エンジンをかけたまま、カッターの藁除去中、手首をカッターで切断
- チェーンに藁が挟まった。引っ張った時逆に巻き込まれ、指切断
- 詰まった粉を、スローから掻き出そうとして、指がはじかれ、挫滅創

② 車両・台車への積み込み中の事故

- 台車にコンバインを乗せ、降りる際足を踏み外し転倒、頭部外傷・水頭症
- トラックに積み込み時、歩み板が外れ、機体が傾き、投げ出され、全身打撲

③ 大型化により「車高」が高くなって

- 特に、降車時に足を滑らせ、転倒、転落による足等の骨折など、多数

④ ラジエーターがオーバーヒート

- オーバーヒート時に、高音の警告音となり、慌てて、ラジエーターの蓋を開けて、火傷

その他のコンバイン等の事故

① 自走式ハーベスター

特に詰まり除去時に

② 汎用コンバイン



平成 26 年度農水省補助事業「農作業事故の対面調査」
一般社団法人・日本農村医学会



コンバイン事故

2013/09/21

コンバイン事故の3つの特徴

1 走行中(ほ場・道)の転落、横転

- 死角:バック・足下など(機械の大型化により、死角が拡大)
⇒ 誘導者をつける、道幅を示すポールを設置など
- グレーンタンクに粉が一杯になるにつれ、重心が上昇、かつ、タンク側に傾き、転倒しやすくなる
⇒ バランスを考えた操作を

2 整備中の事故

- コンバインはカバーを外すと「回転物」だらけ
⇒ 整備で手を出すときは、「回転を止めて!」

3 「手こぎ」での巻き込まれ事故

- だぶつく手袋の着用、無理な姿勢での手こぎ
⇒ ぴったりした手袋着用、稲束は押し出すように入れる

1 ほ場・道路、走行中の転倒、転落

① 特にバック時に転落



事例

三角形のほ場の角刈り中、後進時に、畦を乗り越え4m下に転落。打撲、擦過傷。

小まめに後方の確認を、補助者は誘導を!

② 死角は前方にも



事例

オペレーターは、複数の補助員がコンバインを離れたと思いき、発進し下敷き。実際は、死角の位置に補助員が。



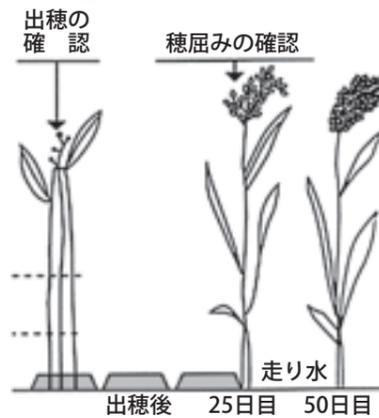
1. 水管理

(1) 登熟期前半の水管理

- ① 出穂が始まったら即入水！
開花・受精後、米粒は急速に生長します。
- ② 間断かんがい
出穂後は速やかに入水、土壌水分を確保し、浅水管理または、間断灌漑を行いましょ。

(2) 登熟期後半の土壌水分管理

- ① 落水後の水管理
田面に長靴のかかと跡が1cm程度つく状態に排水良好田は、用水の断水前に、5～10cm湛水し土壌水分の維持を図りましょ。
- ② 土壌別に落水時期を決めましょ！
ア 排水良好田
出穂期後25日頃まで間断灌漑、その後落水。
イ 排水不良田
出穂期～出穂揃に落水し、根の活力を維持し、1cm以上のヒビが入る前に必ず走り水を実施。



出穂期	乳熟期	糊熟期	黄熟期	成熟期
	登熟期			
入水・間断かんがい 適期落水とその後の走り水管理				

2. 病害虫防除

(1) いもち病

出穂防除後、予察で発生してない場合は、2回目の防除は省略可能ですが、葉いもちの発生が多く出穂が長引く場合は、出穂が完了するまで7日間隔で追加防除します。

(2) カメムシ防除

カメムシ（アカヒゲホソミドリカスミカメ）基幹防除は、必ず出穂期とその後7～10日の2回です。茎葉散布3回目以後の追加防除は、散布予定日（7～10日間隔）の2～3日前に水田内のすくい取り調査（20回振り）を行い、品種と要防除水準（表2）に応じて防除実施しましょ。

表1 出穂期までのいもち病およびカメムシ防除農薬例

出穂期	出穂期防除後7～10日	
（いもち病・カメムシ） ダブルカットトレボン ビームエイトトレボン ブラシンドアントツ	（カメムシ） スタークル、ダントツ キラップ	（いもち病） ブラシン

※ 10a 当り使用量および使用倍率など詳細は、令和3年度水稲栽培基準を参照

表2 カメムシ追加防除の要防除水準（捕虫網20回振りカメムシ頭数）

割籾率	高い	中程度	低い
品種名	ななつぼし ほしのゆめ	ゆめびりか きらら397	そらゆき きたくりん
出穂10～12日後 （追加防除の2～3日前）	1頭	2頭	3頭

※ 割籾率は、割籾歩合基準品種でランク推定した



農作業中の熱中症対策チェック

高温時の作業は、避けましょ

特に70歳以上の方は、のどのかわきや気温の上昇を感じづらくなります。日中の気温の高い時間帯は外して作業しましょ。

単独作業は、避けましょ

なるべく2人以上で作業し、時間を決めて声をかけあったり、異常がないか確認しあうようにしましょ。

20分おきに休憩＆水分補給しましょ

涼しい日陰などで作業着を脱ぎ、体温を下げましょ。のどがかわいていなくても、20分おきに毎回コップ1～2杯以上を目安に水分補給しましょ。

適宜マスクをはずしましょ

屋外やハウスで人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合にはマスクをはずすようにしましょ。

万が一に備えて、携帯電話を持って行きましょ。
緊急連絡先や大切な人の連絡先も、登録しておきましょ。



(2) は種期とは種量の目安（大豆落葉前）

品種、は種時期による 10a は種量が異なります

品 種	9月1～5日	9月1～10日	9月11～15日
きたほなみ	7～8kg	9～10kg	11～12kg
ゆめちから	10～11kg	12～13kg	14～15kg

※ 要注意

生育良好な大豆ほ場における9月5日前の「きたほなみ」は種量は、8kg / 10a 以下としてください。ただし、枕地などの発芽しづらい部分は目安より5割程度多くは種しましょう。

(3) 混麦防止

春まき小麦収穫後の同一ほ場における秋まき小麦のは種および、秋まき小麦品種変更による小麦連作栽培は、混麦発生が極めて高くなります。

最近の混麦事例では、大豆1作後（間作）でも多くの野良生え小麦による混麦発生が確認されています（写真）。

品種変更する場合は、同一ほ場において小麦以外の作物を2年以上栽培し、小麦の野良生えを極少なくし除去する方策が必須です。小麦の品種変更へは3年以上先を見込んだ作付け計画が必要です。



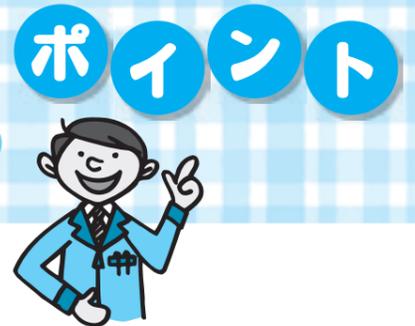
写真 混麦発生ほ場の状況
「ゆめちから」ほ場に「きたほなみ」

秋まき小麦「きたほなみ」から秋まき小麦「ゆめちから」へ変更例

	1作目 (1年目)	2作目 (2年目春)	3作目 (3年目春)	4作目 (3年目秋)
体系1	小麦「きたほなみ」	大豆	大豆	間作小麦「ゆめちから」
体系2	小麦「きたほなみ」	大豆	野菜(8月収穫)	小麦「ゆめちから」
体系3	小麦「きたほなみ」	大豆	馬鈴薯(8月収穫)	小麦「ゆめちから」

注 1作目小麦収穫後、緑肥栽培や緑肥栽培終了後に野良生え小麦を除草処理する

8～9月上旬の 秋小麦栽培



1. 収穫後のほ場管理

(1) 麦稈処理と雑草対策

麦稈は、速やかにほ場搬出。残った麦稈は細断し、浅めにすき込む。
雑草発生ほ場では、麦稈すき込み10日程度後、雑草発生揃い時期にラウンドアップマックスロードなどで雑草処理を実施しましょう。

(2) 排水改善

排水路の清掃（排水路の滞水回避）、心土破碎、額縁明渠の施工、暗渠排水の再整備、カットドレン等による補助暗渠の施工をしましょう。

(3) 土壌pHを確認し、pH6を目標に

土壌診断によりpH確認し、炭カルなどでpH改善しましょう。

※ pH6矯正への炭カル施用量(kg/10a 改良深10cm)

測定値 (pH)	5.0	5.2	5.4	5.6	5.8
砂壤土	169	135	102	68	34
壤土	251	202	150	101	48
埴壤土	337	270	202	135	67
埴土	424	338	255	169	43

※アレニウス氏表による酸性矯正より（腐植程度：含むの場合）

(4) 緑肥作物栽培で土づくり

小麦収穫後から8月中旬までに、緑肥をは種し土壌構造改善を！

緑肥作物の例

種類（品種）	10a は種量	10a 施肥N量	すき込み時期
エン麦（スワン）	15～20kg	4～6kg	10月上旬
エン麦野生種（ハイオーツ）	10～15kg	5kg	10月上～中旬
シロカラシ（キカラシ）	2～3kg	5kg	10月上旬

※ 次作アブラナ科作付け予定の場合は、シロカラシは使用しない

2. 大豆間作小麦のは種

(1) 大豆の生育不良ほ場での大豆間作小麦の作付可否の判断

大豆の生育不良ほ場で間作小麦のは種は、発芽不良を起こしやすく、最悪の場合は廃耕につながります。次の判断方法（例）を参考に検討しましょう。

※ 大豆間作小麦作付の判断方法（例）

- ・判断時期：8月25～9月1日頃
- ・判断方法：生育良好（茎長35cm以上）・・・間作小麦可能
- 生育不良（茎長35cm以下）・・・間作小麦は種後、畦間カルチ処理
- 生育不良・雑草多発・・・間作小麦は中止

【カビ・腐敗粒防除の目安】

8月25日～9月10日

収穫20～30日前に下記の殺菌剤処理が効果的です

主な大豆登録殺菌剤

RACコード	農薬名	使用倍率	使用時期
11	アミスター20フロアブル	2000倍	収穫7日前まで
M7	ベルコートフロアブル	2000倍	収穫7日前まで
3	シルバキュアフロアブル	2000倍	収穫7日前まで
7	ミリオネアフロアブル	4000倍	収穫前日まで

表 道央における「ユキホマレ」のは種期別カビ粒発生率

年次	は種期	成熟期(月日)	降水量(mm)	平均気温(℃)	カビ粒率(%)
平成12年	早播き	9/18	50	18.8	30.1
	標準播き	9/28	93	16.3	3.1
	田植え後	9/29	93	15.8	0.8
平成15年	早播き	9/23	41	6.4	0
	標準播き	9/28	50	4.4	0
	田植え後	10/4	91	4.3	0

平成12・15年 北農研センター

3. 雑草対策

草丈1～1.5mに達するような大型シカザ(アカザ)やオオイヌタデなどの広葉雑草が優先して大豆の草丈を覆い尽くすと大きく減収や汚損粒の発生原因になります。

雑草が1m以上になると畦間・株間処理はできません。大豆草丈以下の内に雑草抜き取り搬出しましょう。

※北海道農協畑作・青果対策本部決定方針

【大豆栽培におけるグリホサート剤収穫前処理について】

- 「落葉終期～収穫14日前」での使用は、品質低下ならびに適用外となるリスクがあることから使用を控えることとする。
- 上記登録内容で使用した場合、JAの大豆共計では取り扱わないこととする。

8～9月の大豆栽培ポイント



1. 病害虫防除

(1) マメシクイガ防除

今年の大豆の開花期は、7月13日頃です。莢の伸長を確認の上、マメシクイガの適期防除を行い、被害粒の発生を減らしましょう。

【防除の目安】

1回目：開花始めから13～14日後頃

※大豆生育が平年並の年 1回目防除時期 8月1～5日

2回目：1回目防除の10日後頃

3回目：2回目防除の7～10日後頃

(2) カメムシ防除

大豆子実を加害する時期は、カメムシ類の種類によって若干異なるが、8～9月に発生した新成虫が加害する。特に、8月中旬～下旬のマメシクイガ防除時にカメムシにも効果ある殺虫剤を使用し、マメシクイガの防除期間中は同時防除が可能です。

<防除例>

散布時期	RACコード	農薬名	使用倍率	効果発現	残効性
マメシクイガ1回目 8/1	28	プレバソフフロアブル5	4000倍	速	長
マメシクイガ2回目 8/10	3A	ゲットアウトWDG	3000倍	速	中
	3A	またはバイスロイド乳剤	1000倍	速	長
マメシクイガ3回目 8/17	3A	バイスロイド乳剤	1000倍	速	長
	4A	またはモスピランSL液剤	3000倍	中	長

※ プレバソフフロアブル5は、「カメムシ」に対する防除効果が低い

※ 効果発現、残効性は、「くみあい農作物病害虫・雑草防除ガイド」を参考とした

2. カビ・腐敗粒対策

9月上旬以降の天候によっては、昨年多発したカビ・腐敗粒が予想されます。特に、生育の早い大豆は薬剤防除が必ず行い、腐敗粒・被害粒の発生を軽減しましょう。

【発生しやすい条件】

収穫期の9月の気温が高く、多雨に遭遇すると、種子にカビが発生する危険性が高く、品質が劣化します(表)。



写真 カビにより莢・茎が黒変

株式会社 FAMO長沼 通信 8月号

Food 情報 Aコープながめま店

京都 菓寮「伊藤軒」
おしゃれな老舗和菓子

京の手仕事と遊び心を和えて、和菓子から洋菓子、ご進物まで色とりどりのお菓子が入荷しました。盆菓子にも最適で果物セットとともにご利用ください。



Aコープメンバーズカード
土曜日 ポイント5倍

Motor 情報 機械センター

『軽トラ』
展示・販売 実施中

今年も、ホクレン長沼給油所で『軽トラック』の展示・販売を行っています。コロナ禍により、展示即売会などのイベント開催は自粛をしていますが、新車・中古車の入替えなどの際は是非お声がけください。



車検のお客様
『洗車カード』贈呈

Oil 情報 燃料センター

SS給油 水曜日
ポイント10倍

長沼SSでは毎週水曜日にポイント10倍デーを開催していますが8月25日(水)で終了となります。

引き続き『ホクレンサマーフェア2021』を開催していますので、皆様のご利用をお待ちしています。会員ご希望の方はホクレン長沼給油所まで



ホクレンSS
サマーフェア開催中

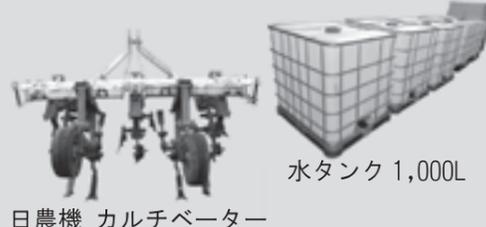
★『オイル交換』・『軽トラ 夏タイヤ』情報★

- 軽自動車・乗用車・1BOX車のエンジンオイル交換『特別キャンペーン』を開催
期間：令和3年8月10日(火)～12日(木)まで
- 軽トラックの夏タイヤ ブリヂストンRD-604Vを特価で販売(数量限定)
独特のブロックパターンがぬかるみ圃場で優れた直進性が好評。



★★『中古農機具』情報★★

(株)FAMO長沼機械センターで所有している中古農機具をご紹介します。
JAながめまホームページに詳細を掲載しています(組合員専用) <http://www.ja-naganuma.or.jp/>
いづれの機械も構内に展示していますので、お気軽にお立ち寄りください。



ヤンマー CT451 (1,682 時間)



ヤンマー Ke-60 (287 時間)



日の本 NX220 (960 時間)

不要農機具・タイヤ等を回収いたします!

- 回収日時 ~ 令和3年8月24日(火)(1日のみ)
午前9時~午後3時
- 受入場所 ~ JAながめま 農協16号倉庫奥

無料回収農機具

トラクター、コンバイン、田植機、乾燥機、作業機、鉄材(ハウスパイプ・金具)、アルミ材、バッテリー
(木製農機具は回収できません)

有料回収品

タイヤ

■タイヤ回収料金(消費税込)

	タイヤ		タイヤにオイル、汚れ、土砂、穀殻等あり	
	夏タイヤスタッドレス	スパイク	夏タイヤスタッドレス	スパイク
乗用車	220円	330円	330円	495円
2t~4t・4WD	550円	825円	990円	1,155円
11t	990円	1,210円	1,650円	1,870円

※ 上記以外のチューブ、フラップは110円/1本
また、大型のタイヤ、キャタピラ、トラクタータイヤは別途料金となります。
おおよそ11,000~33,000円/1本

回収に当たっては...

- 各組合員が各自で積み搬入をすることを基本とします。
- 搬入される方は別途申込みが必要となります。
・貨物自動車がなく引取りを希望する場合は大型農機具のみで、申込みが必要です。
・ユニック車での引取りは24日のみで行い、トラクター、自脱コンバイン、乾燥機、大型作業機、小型作業機、田植機を無料で引取りいたします。ユニック車が横付けできるよう大型農機具は庭先まで移動をお願いします。
・ユニック車の使用料金は無料です。
- ガソリン、バッテリー、オイル等は完全に除去してから搬入願います。
- ガスボンベは回収できません。
- 搬入時には、「産廃運搬車」と表示をお願いいたします。

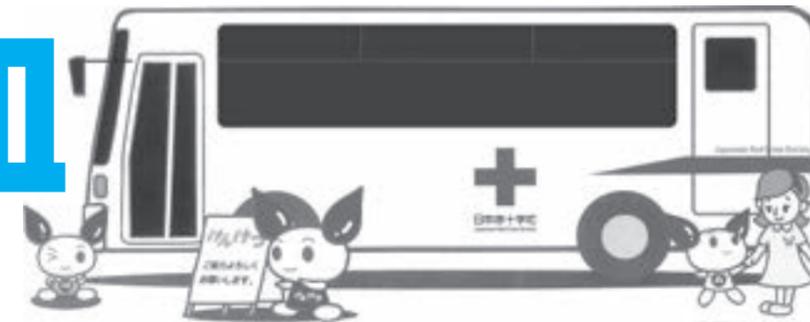
お問い合わせ

主催は農機具とタイヤで各々異なりますが、いずれもご不明点等については下記までご連絡ください。

本所資材センター TEL88-2307

日本赤十字社 北海道赤十字血液センター
Japanese Red Cross Society

献血



あなたの血液は、誰かの命につながります

とき 8月31日(火)
9:30~10:30

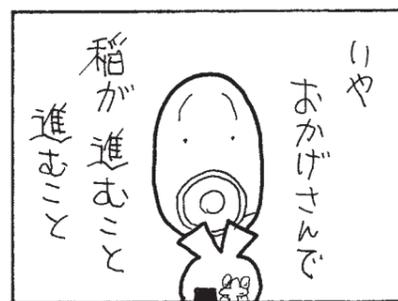
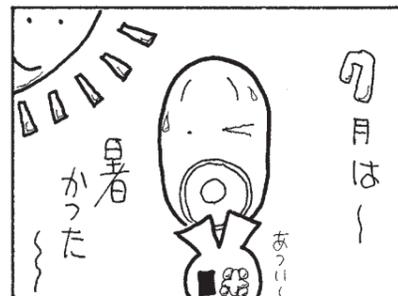
ところ ながめま農協(受付) 献血バス内



北海道赤十字血液センター ☎(011)613-8335

<http://www.hokkaido.bc.jrc.or.jp/>

1等米マツダ



退職職員

永年のご勤続
ありがとうございました



(令和3年7月31日付)
金融部 貯金課 貯金係
岩崎 正業 絵



(令和3年7月2日付)
販売部 米穀畜産課
米穀畜産係
福田 康伸

農薬の作用機構分類 (RACコード) について

栽培基準 6 ページに記載しています RAC コードとは、同一農薬、同一系統の薬剤の連用は耐性・抵抗性の発生要因と考えられることから防除体系の目安としてご活用してください。なお、詳細については栽培基準の 6 ページでご確認ください。

農林水産省からのお知らせ

みどりの食料システム戦略

みどりの食料システム戦略とは

我が国の食料・農林水産業は、大規模自然災害・地球温暖化、生産者の減少等の生産基盤の脆弱化・地域コミュニティの衰退、新型コロナを契機とした生産・消費の変化などの政策課題に直面しており、将来にわたって食料の安定供給を図るためには、災害や温暖化に強く、生産者の減少やポストコロナも見据えた農林水産行政を推進していく必要があります。

このような中、健康な食生活や持続的な生産・消費の活発化やESG投資市場の拡大に加え、諸外国でも環境や健康に関する戦略を策定するなどの動きが見られます。今後、このようなSDGsや環境を重視する国内外の動きが加速していくと見込まれる中、我が国の食料・農林水産業においてもこれらに的確に対応し、持続可能な食料システムを構築することが急務となっています。このため、農林水産省では、令和3年5月に食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」を策定しました。

みどりの食料システム戦略 (概要)
～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～
Measures for achievement of "Encouragement and Realization with Innovation" (MARIKI)

現状と今後の課題

- 生産者の減少・高齢化、地域コミュニティの衰退
- 温暖化、大規模自然災害
- CO2削減と食料生産の両立、国内産出率の向上
- SDGsや環境への対応強化
- 国際ルール・メーキングへの参画

2050年までに目指す姿

- 農林水産業のCO2ゼロエミッション化の実現
- 持続可能な食料システムへの転換、社会的な生産者管理の確立・普及
- に加入、ネオエコノミー系を含む従来の生産者に代わる新規農業等の開発により化学農薬の使用量(リスク換算)を50%削減
- 輸入原料や化石燃料を原料とした化学肥料の使用量を30%削減
- 新技術により占める有機農薬の取組面積の割合を25%(100万ha)に拡大
- 2030年までに食品製造業の労働生産性を最低3割向上
- 2030年までに食品企業における持続可能性に配慮した輸入原料調達の実現を目指す
- エリートザリー等を林業用材木の9割以上に拡大
- 二酸化炭素、クロマクロ等の森林において人工林産出率100%を実現

戦略的な取組方向

経済 持続的な産業基盤の構築

- 輸入から国内生産への転換(肥料・資材・原料調達)
- 生産者の評価向上による輸出拡大
- 新技術を活用した多様な働き方、生産者の増進の拡大

社会 国民の豊かな食生活 地域の雇用・所得拡大

- 生産者・消費者の両立した持続的な日本産食生活
- 地域振興を促した地域経済の発展
- 多様な働き方が共創する地域社会

環境 将来にわたり安心して暮らせる地球環境の継承

- 温暖化抑制と食料・農林水産業
- 中心原料からの代替によるカーボンフットプリント削減
- 化学農薬・化学肥料の削減による土壌改良

詳しくはこちら [みどりの食料システム戦略](https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/index.html) [検索](#)

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/index.html>

北海道農政事務所の取組はこちらから https://www.maff.go.jp/hokkaido/kikaku/midori_hokkaidou.html

問合せ先 農林水産省北海道農政事務所企画調整室 ☎ 011-330-8801
農林水産省大臣官房環境バイオマス政策課 ☎ 03-3502-8056
(問合せメールフォームURL)
✉ <https://www.contactus.maff.go.jp/j/hokkaido/form/4762.html>

農林水産省

あらためて気づいた
食と農、家族のたいせつさ

「家活」で
おうち時間を
楽しもう!

家ノ光

月号	定価(税込)
普通月号	629円
付録月号(1・4・5・7・9月号)	922円
付録月号(家計簿付き12月号)	1,027円

お申し込みは 営農企画課 ☎88-2232

理事会報告 - 第8回 -

《令和3年7月16日開催》

[議案]

- 第1号 第1四半期自治監査講評
- 第2号 登録金融機関業務(国債窓販業務)の廃止について
- 第3号 JAバンクにおける未利用口座管理手数料制度の導入及び基準等の設定について
- 第4号 共同計算の精算について
- 第5号 「JAグループ北海道不祥事ゼロ運動」の取組みについて

[報告事項]

1. 会議・行事等の報告について
2. 農作物生育状況等について
3. 経営所得安定対策の申請状況について
4. 令和3年産野菜・花き市況等の状況について
5. 子会社第1四半期の状況について
6. 経営定期点検実施報告について
7. 不祥事再発防止対策の取組みについて
8. 内部監査報告(共計精算書の正確性)について
9. その他

以上、すべての議案について審議し原案通り承認されました。

今月の組合員数 (前月比)

組合員 1,601名(-2)
 正組合員 837名(±0)
 准組合員 764名(-2)
 正組合員戸数 668戸(-2)

地域農業の担い手、
 JA青年組織盟友を
 応援する雑誌



年2回の別冊付録は一つのテーマを掘り下げ、わかりやすく解説



お問い合わせ 営農企画課 TEL 88-2232

JAグループの発展を

農協の動き 6/21~7/16

6月

21~30日	コンバイン共済推進	於 組合員宅
25日	採用説明会(web)	於 農 協
29日	北農健保組合組合会	於 札 幌 市
29日	粃バラ施設運営協議会	於 農 協
29日	事業推進員会議	於 農 協
30日	種馬鈴しょ第2期防疫検査	於 種いもほ場

7月

2日	職員退職辞令交付	於 農 協
2日	職員採用試験(面接)	於 農 協
5日	監事会	於 農 協
5日	麦バラ施設運営協議会・自主検定委員会	於 農 協
6~9日	みのり監査法人 期中I監査	於 農 協
8日	南空知地方安全運転管理者事業主会理事会・総会	於 栗 山 町
8日	施設長会議(小麦乾燥施設)	於 農 協
8~9日	農林水産省とJAグループ北海道との意見交換会	於 東 京 都
9日	職員採用試験(筆記)	於 農 協
12~14日	子会社業務内部監査	於 子会社各部門
14日	種馬鈴しょ第3期防疫検査	於 種いもほ場
15日	小麦下見指導開始	於 中央検査場他
15日	新規就農者激励会	於 長沼町民会館
16日	理事会	於 農 協



●お申し込みは JA へ

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞
www.nougyou-shimbun.ne.jp

紙面を刷新・さらに充実
 役立つ・楽しい・読みやすい!!